

まなぶてらす 地震発生時の対応ガイドライン

はじめに

本ガイドラインは、まなぶてらすのオンラインレッスン中に強い揺れを伴う地震が発生した際の基本的な行動指針を定めるものです。地震発生時の混乱を最小限に抑え、生徒と講師双方の安全を迅速かつ適切に確保することを目的としています。



地震発生時の避難手順

1. レッスン中断

地震による強い揺れを感じたら、揺れが収まるまで速やかに机の下などの安全な場所に移動してください。そのとき、SkypeやZOOMなどの通信は切断せず、講師・生徒相互の状況確認のため維持します。

2. 状況確認

揺れが落ち着いたら怪我の有無や周囲の確認を行います。また、地震後の停電等により相手の通信が途切れ、その後も連絡が取れない場合は、事務局まで「相手のお名前(会員名または講師名)、レッスン日時、中断時刻」をお知らせください。

3. 保護者への連絡

生徒が被災した場合、安全を確保した上で、生徒から保護者に連絡を取り、状況を伝えるように促します。生徒側で安全な連絡手段が確保できない場合は、講師または事務局から保護者宛に連絡し、生徒の様子や避難状況などをお伝えする場合があります。



4. 避難指示の確認

震度4を超える地域の場合は、レッスンを一時中断し、テレビやラジオ、地域のアナウンス等で避難指示が出ていないか確認を行います。避難指示が出ている場合は、レッスンを中止し、保護者に連絡の上、避難します。また中規模程度の地震でも海岸に近い地域や川沿いに住んでいる場合は津波の恐れもあります。居住地域に津波警報や避難指示が出ている場合は、保護者に連絡の上、高台への避難を指示します。

5. 講師側の被災

講師が被災した場合も同様にレッスンを一時中断し安全を確保します。避難指示の有無を確認し、状況に応じてレッスンを中止し避難します。講師が被災し、その後のレッスンが実施できない場合は、講師または事務局から保護者へ連絡をします。

6. レッソンの継続

居住地域に避難指示がなく、生徒と講師双方の安全が確認できた場合に限り、レッスンを継続します。

事後対応

- 地震発生後の状況に応じて、その後の予約済みレッスンの実施の可否、レッスンのキャンセル処理など、講師または事務局にて連絡及びサポートを行います。

その他

- 本ガイドラインは、定期的に見直しを行い、必要に応じて更新します。
- 地震発生時の状況は様々であり、本ガイドラインに記載されていないケースも発生する可能性があります。そのような場合は、講師と保護者が互いに状況を共有し、協議しながら適切な対応を行うものとしします。

安全確保を最優先に

地震発生時の安全確保は最も重要です。日頃から大きな地震が発生した際にも安全を確保しやすい場所でレッスンを行っているか、保護者と連絡がいつでも取れるようになっているか、避難指示が出た場合に何を持って、どこに避難をするかなど、防災、安全を意識した事前の準備も重要です。本ガイドラインを参考に、生徒と講師双方が安全に行動できるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

作成日

2024年2月26日

お問い合わせ

本ガイドラインに関するご質問は、まなぶてらす事務局までご連絡ください。